時事新報定價
郵送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月時金五十錢〇三箇月時金一圓五十錢〇六箇月時金三圓〇一箇年時金六圓
〇時事新報御申込ニ際シ郵便ニテ送付スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金

一行五號活字仕四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

左の一編は米人メリヴ井ザー氏の歐洲周遊記中より抄譯したるものあり立論の趣向は專ら自由貿易保護貿易の利害論にして我輩の感服せざる所少あらずと雖も論中の事實及び統計表に至りては其調査精密にして大に見る可きものあるに非ざれば茲に記載して讀者の參考に供するものあり

歐洲諸國に於ける賃銀と關稅

余が歐洲の旅を終りて英國より歸途に就きたるは冬の半なり倫敦出立前、十六弗にて厚襦の外套を調達したるが若しも米國にて誂へたらば確に四十弗は要す可しと思はれたりニューヨーク到着の上余は取敢へず乘合馬車に乘込たるに辯きの外套着たる一人の御者つく〳〵余の外套を眺め居たりしが突然余に問掛たり

卒爾ながら貴客の外套は何程にて召されました

十六弗

御者は最ども驚きたる體にて眼を丸くし

十六弗……ドウシテ私の此品でさへ十八弗貴客は何處でお買ひなされました

倫敦で

之を聞きたる御者は失望の容子にて話を止め再び馬を鞭てり

保護貿易論者は頻りに英國の製品の我米國内に氾濫するを恐るれども余の所見を以てすれば彼の憐む可き御者の如きは一枚の外套だにも氾濫の餘澤を蒙るみと能はざる者あり蓋し彼等は二弗の賃錢を得んとして一日十三時間乃至十四時間勞働するみとあれども若しも衣服薪炭其他日用の必要品が今の價の五割を減ずるに至れば其生活の費用は大に減と隨て勞働の時間をも減じて始めて家族と共に樂むの餘裕もあるみとおちんに然るに保護論者は自由貿易は賃銀を低下し海關稅は賃銀を騰貴するものなりとの理由を以て物價輕減說に反對せり

余の實驗に據りて歐洲諸國の例に徴するに其國民の貧困ある所以は自由貿易に關係あるみと明白にして保護の最も實ある國は賃銀最も高きのみならず其貧困の原因は國の富實の大半を擧て少數人の手に歸せしめたるが爲めなりと云はざるを得ず彼の國王貴族の輩が虎の如き大手を擴げて國財を採むに當りては國中多數の小民は貧困せざらんと欲するも得べからず露國皇帝の歲入は九百十二萬五千弗にして即ち一日に入る所は二萬五千弗あり墨國皇帝は一日同じく六千弗、墨利皇帝は同じく一萬弗にして土耳其帝の如きも一日一萬八千弗の收入ありと云へ歐洲諸國の人民は斯る冗費を負擔する其上に常備兵の重荷あり官吏社會の濫費あり其貧窮困苦の原因過半は此途に在りと云ふも亟言に非ざる可し

左れば歐洲貧困の原因を以て彼の國々に絶無僅有とも云ふ可き自由貿易に歸するの誤謬たるは固より明白にして我米國と雖も若し萬一にも立君貴族の政體行はれて一年六千五百萬圓歐洲諸國王室費の總額を値するが如くの時日到來するみともわらば勞働社會の有樣は歐洲諸國と一般の觀を爲すに至るや明白なりと云はざるを得ず

英國には王室、貴族、無數の兵隊無用の役人ありと雖も歐洲立君政治の諸國中にて勞働社會の賃銀を以て能く其生活を支ふるに足るものは唯一の英國のみにして又その諸國中自由貿易を行ふものも亦唯一の英國あるのみ然るに我米國は土地廣大なれども人口却て稀に政體は共和政治にして政費割合に少なく地利人和の十分なるにも拘はらず區々たる一嶋國の後に落ちて一歩を讓るの觀あるは遺憾の至りなりと云はざるを得ず余は歐洲周遊の途次各國の港灣に到る毎に他國の船舶帆檣林立の間に時として偶ま米船を認むるときは竊に一種の感に堪へざりき

伊太利は保護國なり同國にては熟練ある機械師にても一日半弗を得るに過ぎざれども英國の機械師は一日一弗二十一仙より一弗五十仙を利せり

獨逸も同じく保護國にして左官は一日六十仙、機織工及び紡績工は一日十二時間より十三時間の勞働にて同じく六十仙の賃錢なれども英國の紡績工は一日九時間より十時間の仕事にて一弗十五仙の報酬を得べし

又露國勞役者の賃銀を英國に比すれば平均三分の一少なきを見る可し

（以下次號）

雜報

○自由新聞社の騷動　一項に付左の通り申來りたれば前報を是正す

貴社新聞第二千九百七十六號報欄內自由新聞の騷動と題せる記載の項中右茂木氏等と國民派の八木原繁祇氏等と如何ある關係ありや云々其他小生の名義に關する事は全く無根の說にして自由新聞社へ今日迄一度も立入致さゝる事は勿論又た何等の關係も無之候間茲に取消有之度候也

四月一日　八木原繁祇

○又　左の通り申來りたれば同項は取消す

本日發兌貴社新聞紙に御掲載相成候本社の報酬は事實相違の廉有之候に付御取消相成度此段及御依頼候也

時事新報社編輯局御中

明治廿四年四月一日　京橋區瀧山町二番地　自由新聞社

時事新報社御中

○比叡、金剛の消息　比叡、金剛の二艦は去月三十日コロンボへ安着したる趣電報あり

○大坂府の改革　同府にては此程より改革に着手し府廳官吏の俸給額にて凡八千圓計を減縮する筈にて之に對する官吏屬官雇吏等にて六十餘名を減じ同其筋より確定額の通知あれば已に三十餘名を非免したるも尚其筋より確定額の通知に接せば二十五六名を減する筈又警察部には警部及屋員等にて十六七名を減員し收稅部も同樣屬員等にて二十四五名を減じたるよし

○横濱市會　は前會に引續き一昨三十一日午後六時二十五分開會し出席議員二十二名にて二、四、五、七、八、九、十、十一、十二、十四、十六、十七、十八、二十一號議案（横濱市避病院規則）の一二より廿六號議案迄の三次會を開き執れも調査委員の條正に可決し次に十三號議案（横濱市會議員選擧規則）の一二次會を開き執れも原案に決し休憩せしが他の議案は調査未濟なるを以て休憩後直ちに散會せしは九時三十分頃なりと

○中村貞吉氏　遞信省電信機臺用品製造所長書記官中村貞吉氏は去る一月中、氣管支を損じて聊か吐血し先頃房州地方に轉地療養中なりしが感冒に罹りて歸京後も兎角健康書に復せず又々轉地療養の爲め去月二十九日神奈川縣酒匂の松濤園に赴きたるよし

○野口寅次郎氏　是迄本社の編輯に從事し居たる野口寅次郎氏は此度横濱貿易商組合の招聘に應じて同組合の事務を擔任するみとゝなりたるに付不日該地へ移轉する都合なりと

○瓦斯局處分に關する横濱市參事會の意見　横濱瓦斯局を公賣に付し其の代金を横濱市の基本財產にすべしとの區會の議決に對し地主派の一派は之に不同意を唱へ鈴木稻之助氏外十六名は連署して市參事會に迫り其の再議あらん事を懇願せしも同市參事會は矢張り區會の議決を認可せんとの意見なる由にて別段區會の議決が公益を害するとも思はれず之を再議に付するの必要あしとの事なるが目下開會の市會は之を受理するや否は判然せざるも矢張り區會の議決を是認するに至るべしと云ふ

○蒸原に達する海底電線　今度日本政府は丁抹國大北部電信會社より肥前東松浦郡小友村海岸より對州蒸原に達する海底電線を買收したるに就き以後蒸原への電報料は內國一般と同樣にありたり委細は本日の官報欄內に見ゆ

○門司黑崎間及久留米高瀨間の開業　九州鐵道第一區中門司より黑崎まで十四哩及び第四區中久留米より高瀨に至る四十八哩間の線路は既に竣工し去月二十五日鐵道廳より九州鐵道會社東京出張所其開業免狀を下附されたるを以て昨日より客車の運轉を始る筈なりし由なるが其列車の發着及時間等は高瀨門司間に一日四回の往復即ち郡合八回列車發着は博多より上り一臺、下り一臺、門司高瀨より各一臺何れも門司高瀨間を一回往復す故に博多發は上り四回、下り四回門司發高瀨發とも何れも四回なるべし又第一列車の發出は博多より高瀨行午前五時十一分博多より門司行午前六時二十五分、門司より高瀨行午前六時十分、高瀨より門司行午前六時四十八分なる可く又最終着時間は門司より博多着午後八時四十八分、高瀨より博多着午後十時十二分、門司より高瀨着午後八時三十五分、高瀨より門司着午後九時十四分に定まるなりと云ふ

○南和鐵道と大坂鐵道の約束成る　南和鐵道は大坂鐵道大和高田町停車場を起端とし同國五條町に達するものにて其長さ十餘哩あり大和南部の豪農等が發起にて先年來奔走の末今回遂に假免狀の下附ありたるが其資本金は先づ五十萬圓と見積り大抵同地方の地主、山主等より募集し成べく公けには募らざる覺悟にて其收入の重なるものは材木、鑛物、木綿等の運賃、及び乘客賃なり今其豫算調査表を見るに一日分の乘客千百七十人此賃金百八圓八十錢、同貨物一千四十五駄此賃金四十一圓九十九錢、一箇年の總收入五萬五千三十八圓三十五錢但し乘車賃は一哩一錢一厘とし高田五條間下等十四錢、御所高田間同四錢、貨物は四十貫に付高田五條間五錢同高田御所間一錢二厘の割合なり右の豫算に據れば資本金に對し年五六分の配當は爲し得らるべし殊に此中には同鐵道の重なる收入とも言ふべき目下紀ノ川を筏にて流し和歌山を經て大坂に廻送する吉野郡の材木運賃を加へざるを以て若し此材木を總て南和鐵道にて運搬するものとせば年一割の配當を爲し得らるべし年々吉野材木の十一萬五千駄和歌山より大坂迄の運賃は去る一月中、氣管支を損じて聊か吐血し先頃房州地方に轉地療養中なりしが感冒に罹りて歸京後も兎角健康書に復せず又々轉地療養の爲め去月二十九日神奈川縣酒匂の松濤園に赴きたるよし

○野口寅次郎氏　是迄本社の編輯に從事し居たる野口寅次郎氏は此度横濱貿易商組合の招聘に應じて同組合の事務を擔任するみとゝなりたるに付不日該地へ移轉する都合なりと

○瓦斯局處分に關する横濱市參事會の意見　横濱瓦斯局を公賣に付し其の代金を横濱市の基本財產にすべしとの區會の議決に對し地主派の一派は之に不同意を唱へ鈴木稻之助氏外十六名は連署して市參事會に迫り其の再議あらん事を懇願せしも同市參事會は矢張り區會の議決を認可せんとの意見なる由にて別段區會の議決が公益を害するとも思はれず之を再議に付するの必要あしとの事なるが目下開會の市會は之を受理するや否は判然せざるも矢張り區會の議決を是認するに至るべしと云ふ

○蒸原に達する海底電線　今度日本政府は丁抹國大北部電信會社より肥前東松浦郡小友村海岸より對州蒸原に達する海底電線を買收したるに就き以後蒸原への電報料は內國一般と同樣にありたり委細は本日の官報欄內に見ゆ

○門司黑崎間及久留米高瀨間の開業　九州鐵道第一區中門司より黑崎まで十四哩及び第四區中久留米より高瀨に至る四十八哩間の線路は既に竣工し去月二十五日鐵道廳より九州鐵道會社東京出張所其開業免狀を下附されたるを以て昨日より客車の運轉を始る筈なりし由なるが其列車の發着及時間等は高瀨門司間に一日四回の往復即ち郡合八回列車發着は博多より上り一臺、下り一臺、門司高瀨より各一臺何れも門司高瀨間を一回往復す故に博多發は上り四回、下り四回門司發高瀨發とも何れも四回なるべし又第一列車の發出は博多より高瀨行午前五時十一分博多より門司行午前六時二十五分、門司より高瀨行午前六時十分、高瀨より門司行午前六時四十八分なる可く又最終着時間は門司より博多着午後八時四十八分、高瀨より博多着午後十時十二分、門司より高瀨着午後八時三十五分、高瀨より門司着午後九時十四分に定まるなりと云ふ

○南和鐵道と大坂鐵道の約束成る　南和鐵道は大坂鐵道大和高田町停車場を起端とし同國五條町に達するものにて其長さ十餘哩あり大和南部の豪農等が發起にて先年來奔走の末今回遂に假免狀の下附ありたるが其資本金は先づ五十萬圓と見積り大抵同地方の地主、山主等より募集し成べく公けには募らざる覺悟にて其收入の重なるものは材木、鑛物、木綿等の運賃、及び乘客賃なり今其豫算調査表を見るに一日分の乘客千百七十人此賃金百八圓八十錢、同貨物一千四十五駄此賃金四十一圓九十九錢、一箇年の總收入五萬五千三十八圓三十五錢但し乘車賃は一哩一錢一厘とし高田五條間下等十四錢、御所高田間同四錢、貨物は四十貫に付高田五條間五錢同高田御所間一錢二厘の割合なり右の豫算に據れば資本金に對し年五六分の配當は爲し得らるべし殊に此中には同鐵道の重なる收入とも言ふべき目下紀ノ川を筏にて流し和歌山を經て大坂に廻送する吉野郡の材木運賃を加へざるを以て若し此材木を總て南和鐵道にて運搬するものとせば年一割の配當を爲し得らるべし

○生絲輸出　昨年中米國へ向け輸出せし生絲の數は中八十五萬俵にして其內訳は左の如し

同伸會社より出帆の獨逸郵船	中六十三萬俵	同伸會社より出帆の獨逸郵船	中六十三萬俵
寺甘俵、九十一	中六十三萬俵	寺甘俵、九十一	中六十三萬俵
綾絲七俵、手柄	中六十三萬俵	綾絲七俵、手柄	中六十三萬俵

○生絲及製茶の米國輸入　米國輸入ゲ　海より百六十個、合計千三百十八個香港より

○生絲及屑物の出入　生絲及屑物の出入は

○新茶の入荷　新茶七十目、滾の茶商勝見商尻在尾彩根村物何れも入荷せ